

デイサービスの防火・防災 職員さん用の1枚

動画「デイサービスの防火・防災(約5分)」と一緒に使います。ご利用者さんと職員さんが一緒に見て学ぶ動画です。レクの時間にも、消防訓練の日にも使えます。

1. 訓練の前に(前日までに)

- ☐ 消防計画に沿って、消防署へ訓練の連絡をした(防火管理者を置いている事業所は、事前の通報が決まりです)
- ☐ 消火器のラベルを見た:「普通・油・電気」が文字なら古い型(今は置けない)／絵なら新しい型。使用期限も確かめた
- ☐ 防火戸の前に物を置いていない／戸をくさびで開けっぱなしにしていない
- ☐ 車いすを利用者さんの近くに置く段取りを決めた
- ☐ 役を決めた:通報_____ 消火_____ 避難誘導_____ 人数確認_____ (新しい職員さんにも消火器と通報の役を)

2. 当日の順番



3. 押さえどころ

- ・ 119番は「火事です」から → 住所(事業所の名前) → 目標の建物 → 電話番号 → 何が燃えているか
- ・ 消火器:ピンを抜く → ホースを火元に → レバーを強くにぎる。ねらうのは燃えている物。逃げ口を背に。ピンは火のそばで抜く
- ・ 炎が天井に届いたら、消すのをやめて逃げる
- ・ 避難は「おかしも」。エレベーターは使わない。火の出た部屋から先に出て戸を閉める。車いすは出口で渋滞させない
- ・ 非常口のマーク:緑の地に白い人＝非常口／白の地に緑の矢印＝非常口への道。ご利用者さんとふだんから場所を確かめる

4. 電話のそばに貼る欄

火事です。

住所

事業所の名前

目標の建物

この電話の番号

5. 記録・口頭報告の文例(○を書きかえて使えます)

○月○日○時より、消防訓練を行いました。はじめに動画で、ご利用者さんと一緒に火事と地震のときの身の守り方を確かめました。そのあと、地震を想定した身を守る訓練を行い、火災を想定して、通報・消火(水消火器)・避難の訓練を行いました。参加は職員○名、利用者○名です。気づいた点:○○○○。次回までに:○○○○。

6. 2026年に新しくなったこと

- ・ 3月:内閣府「避難情報に関するガイドライン」改定。デイ利用中に避難が必要になったとき、ご家族と避難するか、デイで避難するかを前もって決めておくのが望ましいとされた

- 5月29日:気象庁の防災気象情報が新しくなった。大雨・土砂災害・河川の氾濫・高潮に「レベル4 危険警報」ができた
- 災害の業務継続計画(BCP)の訓練は、この訓練とまとめて行ってよい(厚生労働省の解釈通知)

この1枚と動画は訓練の前の学習用です。訓練の回数や方法は、所轄の消防署・自治体の決まりに従ってください。内容は総務省消防庁・東京消防庁・厚生労働省・内閣府・気象庁の公表資料で確かめました(2026年10月時点)。 デイの豆知識